

No. 1347

広島、初の日本一

— 日本シリーズ第7戦 —

1979年度のプロ野球日本シリーズ、近鉄バッファローズ対広島東洋カープの最終戦は11月4日、大阪球場に約二万五千の観衆を集めて行われました。3勝3敗のタイで迎えたこの試合、2点を追う近鉄は5回、ヒットの羽田を2塁に置いて平野がセンターオーバーの同点ホームラン。追いつかれた広島は6回、7番の水沼がレフトスタンドにホームラン、近鉄を引き離します。近鉄は9回無死満塁と一打逆転の絶好のチャンス。しかし代打佐々木は三振、石渡のスライズも失敗二死。結局石渡も三振に倒れ試合終了、広島は球団創立30年目にして日本一に輝きました。最優秀選手には広島の高橋慶彦選手が選ばれました。

菊に競う

— 愛知・名古屋 —

秋たけなわの11月3日、愛知県名古屋市で名古屋城天守閣再建20周年を記念して種々な催しが行われました。「中日ミスカメラと名古屋城菊花大会を写す会」には中日写真協会々員やアマチュアカメラマン約500人が参加しました。これは中日新聞が主催したもので毎年行われていますが今年はいままで最高の人気を呼びました。カメラマンたちは菊の花ふぶきに舞うミスカメラたちに思い思いのアングルを競いました。

大平首相、再指名される

総選挙の結果を受けて新しい首相を選出する第89特別国会は10月30日召集された。しかし、総選挙敗北の首相の責任をめぐる自民党内紛が続いているさなかの召集だけに初日の衆議院本会議は正副議長を選出だけとなった。11月2日自民党本部で開かれた両院議員総会は大平氏首相候補に反発する福田、三木、中曽根3派の議員が欠席するというかたちで行われた。総会では大平正芳氏が改めて首相指名候補に確認された。非主流3派の統一組織である「自民党をよくする会」は福田赴夫氏を首相候補に決定。これで自民党はひとつの党から2人の首相候補を出すという異例の事態となった。この自民党内紛劇のなかで国会は召集日から一週間空白のまま昭和38年第3次池田内閣の5日間をこえる記録となった。11月5日にはなんとか首相候補を一本化しようと大平、福田両氏のトップ会談が2度にわたって行われた、しかし双方の主張が対立したまま会談は決裂。

結局、大平、福田両氏の対決は衆議院本会議に持込まれた。第89特別国会衆議院本会議は11月6日午後開かれ、首相指名投票を行った。自民党は大平氏と福田氏の2人が立候補するという異例の分裂選挙となったため、大平氏の得票は135票、福田氏は125票といずれも過半数に達せず決戦投票となった。いったん休憩に入ったあと行われた、決戦投票では大平氏が福田氏に17票の差をつけて首相に指名された。これで総選挙以来31日ぶりに第2次大平政権の誕生となった。